

2022年12月期 決算補足資料

日本和装ホールディングス株式会社（証券コード：2499）

2023年2月14日

1. 会社概要

2. 2022年12月期 決算概要

- ・業績ハイライト
- ・社長コメント
- ・財務ハイライト

3. TOPICS

4. 今後の展開について

(参考資料)

本資料の説明動画を弊社ホームページの [会社概要・IR] に2023年2月17日より掲載予定です



道面 義雄

【プロフィール】

1986年 9月生まれの36歳。広島県呉市出身

2008年 広島局に入社

広島拠点長、営業部部長を経て、取締役、副社長を歴任

2018年 社長就任

2023年 社長5年目を迎え、さらなる業績の向上と新規事業の結実を目指して、

日々奮闘中

- YouTubeで「DO-MEN channel」を展開中
高砂親方とも対談

<https://www.youtube.com/c/DOMENchannel>



1. 会社概要

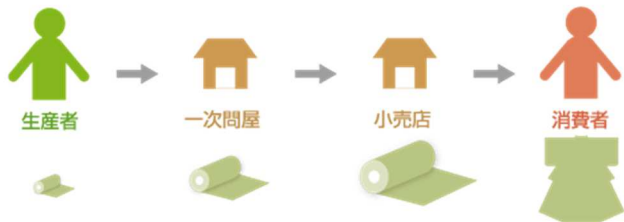


和装品の販売仲介 ～当社独自のビジネスモデル～

きもの新しい流通の仕組みを確立し、当社独自のビジネスモデルを軸に事業の充実と拡大を遂げてきました。

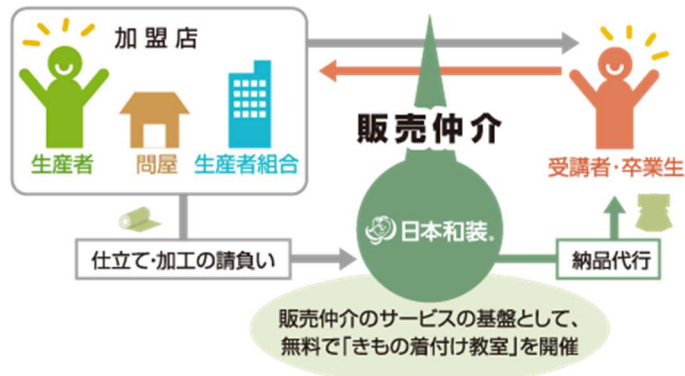
〈きもの業界の複雑な流通形態〉

- ・複数存在する中間マージン



〈日本和装のビジネスモデル〉

- ・シンプルな流通形態
- ・きものや帯の知識を“伝えて”仲介する
- ・代金回収の代行など生産者にもメリット
- ・仕立てから納品まで、徹底した品質管理



※加盟店からいただく仲介手数料が主な収益です。

ビジネスモデルの発展

着付け教室の卒業生は21万名超。従来の「教えて、伝えて、流通を促す」ビジネスモデルに加え、今の社会に柔軟に対応して新たな需要を喚起しています。

少人数制

より安心して通っていただけるよう、全てのクラスで少人数でのレッスン。



エグゼクティブコース

ご自宅でマンツーマンで着付けを習えるコース。富裕層のニーズに応えます。



プライベートブランド

産地との強い繋がりを活かして希少な染織品を制作し、より付加価値の高い商品を提案。



着付け教室という「メインブランド」に加えて、今後は新規事業にも注力、独自のビジネスモデルを活かした「サブブランド」の創造を目指します。

また、グループ会社のシナジー効果を最大限に活かし、未来へと繋げていきます。

2. 2022年12月期 決算概要

- ・ 業績ハイライト
- ・ 社長コメント
- ・ 財務ハイライト

業績ハイライト

- ・ 第1四半期から第2四半期にかけては、新たな顧客層の獲得に向けた様々な教室の取り込みを行い、着付け教室の卒業生を対象に、産地や商材をしっかりと打ち出したツアー・イベントの企画等を実施したことで、受注は堅調に推移。

当社恒例のイベントの中でも、全国23会場で開催された「縁の会」と、東京が会場となる「遊々会」には、約2千人がご来場いただき、遊々会東京会場では取扱高が過去最高実績となる。

- ・ 第3四半期以降においては、「きものブリリアンツ全国大会」が前年を上回る実績を残したものの、物価高騰によりお客様の消費マインドが弱まった。そのため、販売促進活動により売上の再拡大に向けた取り組みを行ったが、段階利益は前年同実績を下回る結果となる。



前期に引き続き営業黒字確保

新型コロナウイルス感染症第7波の流行、第8波への突入に加え、資源価格の高騰や歴史的な円安水準、食品や家電の値上げなどもあり、依然として日本経済は先行き不透明な状況が続いております。

当社日本和装ホールディングスグループにおいてもその影響が表れ、前年に比べ厳しい一年となりました。上半期の業績は想定通り堅調に推移していたものの、下半期に入って想定を下回る月が続きました。

新規顧客の獲得や既存顧客へのリマーケティングが計画通り実現できず、コロナ禍以降はコアな顧客の集客に偏ってしまいました。2020年に緊急事態宣言を受けて休業を余儀なくされ、営業再開後も一定程度の成果はあげられたものの、コロナ禍以前のようにお客様に気軽に足を運んでいただけるという状況までは戻っていない環境下にあります。利益確保に向け、販管費のコストコントロールを実行しましたが、結果的には減収減益となりました。

2023年は「創業40周年」をテーマに、様々なイベントやツアーを盛り上げていけるような新たな企画を計画しております。また、イメージキャラクターには広末涼子さんを採用し、実際に当社の無料きもの着付け教室を体験していただき、広告キャンペーンでは広末涼子さん自身が受講者として「日本和装」を身近に感じていただけるようなアプローチを展開しております。

グループ会社であるニチクレ株式会社では、2021年に友の会事業の許認可を受けており、親会社の日本和装ホールディングスの市場であるきもの業界全体をターゲットとして代理店事業の準備を進めている中で、同業他社から加盟店登録の要望もあり、徐々にスタートしています。また、株式会社はかた匠工芸においても、同業他社から博多織のOEMが進み始めています。業界内で相互協力し、業界の活性化に繋げていくのが目的ですが、2023年12月期には日本和装ホールディングスが創り出す市場以外からの収益の増加を見込んだ計画が形になりつつあります。

当社はグループ会社間のシナジー効果を最大限に発揮し、きもの業界全体の活性化を念頭に置くことで、必ず日本和装ホールディングスグループの収益向上に繋がると確信しております。今後とも日本和装ホールディングス並びに当社グループ会社を何卒宜しくお願い申し上げます。



代表取締役社長

道面義雄



連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 2021年12月期 実績 | 2022年12月期 実績 | 前年同期比 | |
|---------------------|-----------------|-----------------|-------|--------|
| | | | 増減額 | 比率 |
| 売上高 | 5,058 | 4,770 | －※ | －※ |
| 売上総利益 | 4,543 | 4,375 | －※ | －※ |
| 販売費および 一般管理費 | 4,097 | 3,955 | －※ | －※ |
| 営業利益 (営業利益率) | 445 (8.8%) | 419 (8.8%) | △25 | △5.7% |
| 経常利益 (経常利益率) | 448 (8.9%) | 392 (8.2%) | △56 | △12.5% |
| 税金等調整前当期純利益 | 421 | 389 | △32 | △7.7% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 270 | 236 | △34 | △12.6% |

●営業外収益

前期比 △37

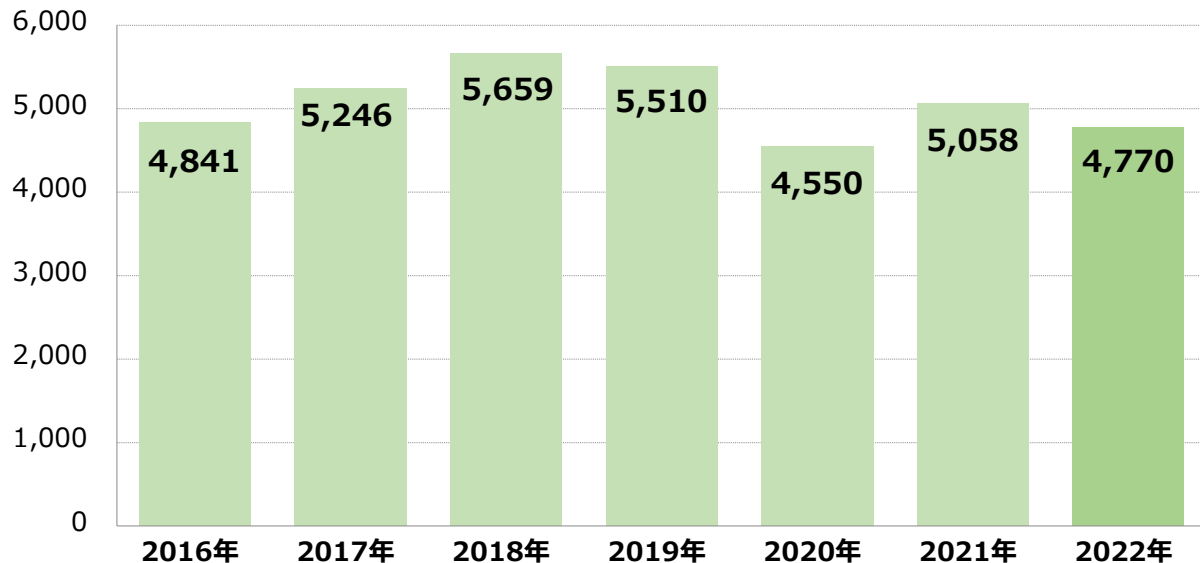
助成金収入 △33

※「収益認識に関する会計基準」等を当事業年度の期首から適用しており、2022年12月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。
このため、売上高・売上総利益・販売費及び一般管理費については対前期増減は記載しておりません。



売上高 年度別推移

(単位：百万円)

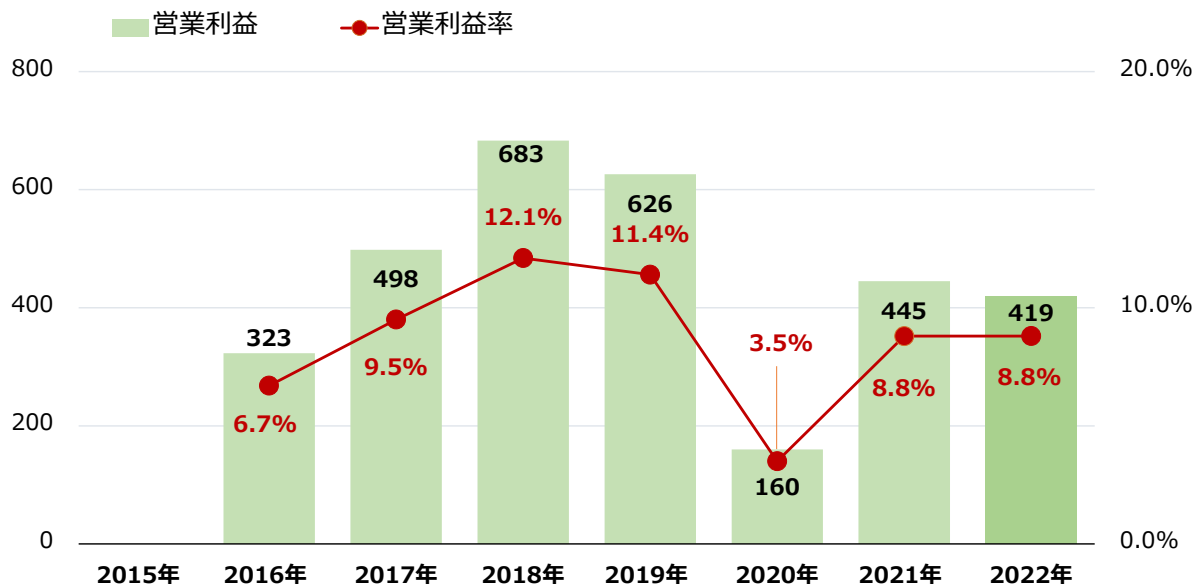


- 上半期は、新規顧客獲得に向けた様々な教室の取り組みや、卒業生向けのツアー・イベント、恒例イベント「縁の会」・「遊々会」が好調だったことにより、売上高は堅調に推移
- 下半期は、プリリアンツ全国大会が前年を上回る実績を残したものの、物価高騰によるお客様の消費マインドが弱まった影響により、前年を下回る結果になる



営業利益・利益率 年度別推移

(単位：百万円)



- 今年度は、売上高が前年実績を下回ったことにより、営業利益も前年から減少
- 利益確保に向けてコストコントロールを行ったことにより、営業利益率は前年と同水準を維持

連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 2021年12月末 | 2022年12月末 | 前期末比 増減額 |
|---------|-----------|-----------|-------------|
| 流動資産 | 8,553 | 8,441 | △111 |
| 現金及び預金 | 2,870 | 2,809 | △60 |
| 割賦売掛金 | 4,930 | 4,958 | 27 |
| その他 | 752 | 674 | △78 |
| 固定資産 | 404 | 361 | △43 |
| 資産合計 | 8,958 | 8,803 | △154 |
| 負債 | 5,661 | 5,405 | △255 |
| 有利子負債 | 4,444 | 4,514 | 69 |
| その他 | 1,216 | 891 | △324 |
| 純資産 | 3,296 | 3,397 | 100 |
| 負債純資産合計 | 8,958 | 8,803 | △154 |
| 自己資本比率 | 36.8% | 38.6% | |

- 現金及び預金
前期末比 △60
営業活動によるCF +27
財務活動によるCF △76
- 有利子負債
前期末比 +69
- 純資産
前期末比 +100
当期純利益 +236
配当 △145



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

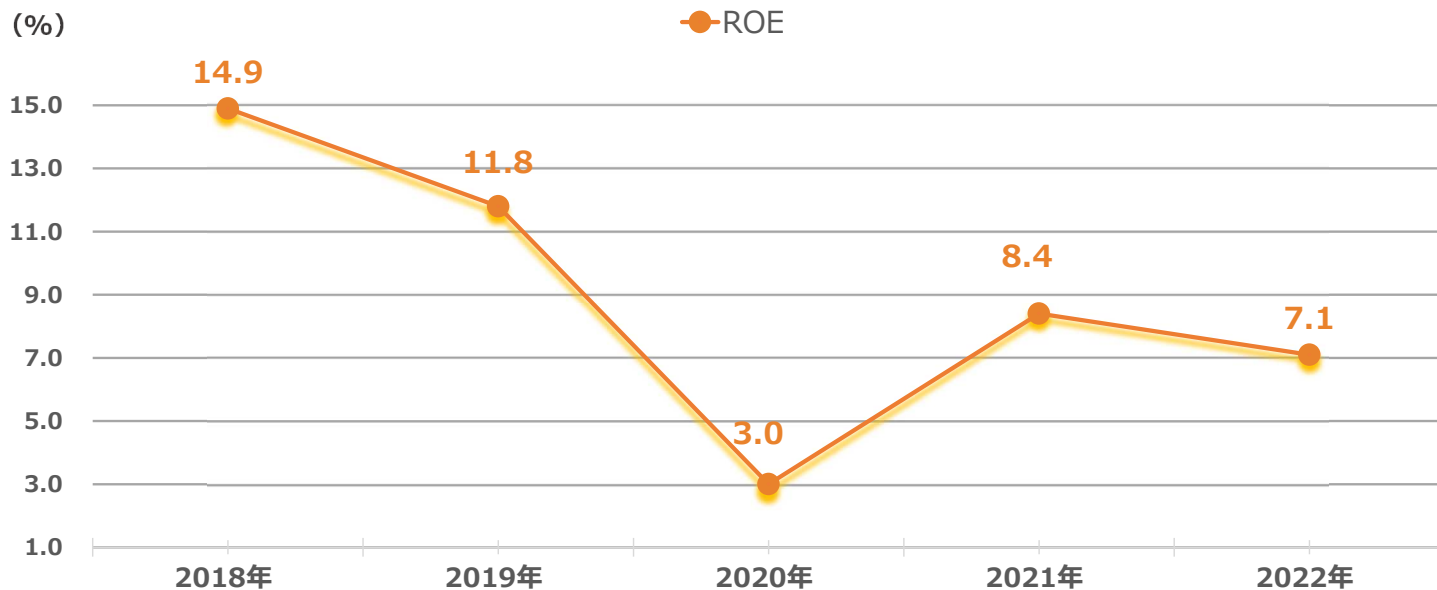
| | 2021年12月期 | 2022年12月期 | 前年同期比 増減額 |
|----------------------|-----------|-----------|--------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 751 | 27 | △724 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △47 | △26 | +21 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △482 | △76 | +406 |
| 現金及び現金同等物の 増減額 | 229 | △67 | △297 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 2,431 | 2,660 | +229 |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 2,660 | 2,592 | △67 |

- 営業CF +27
 - 税金等調整前純利益 +389
 - 法人税等の支払額 △232
 - 未払金の減少 △66
 - 営業未収入金の減少 +52
- 投資CF △26
 - 無形固定資産の取得による支出 △10
 - 定期預金の預入による支出 △5
- 財務CF △76
 - 短期借入金の純減少額 △390
 - 長期借入れによる収入 +3,100
 - 長期借入金の返済による支出 △2,640
 - 配当金の支払額 △145



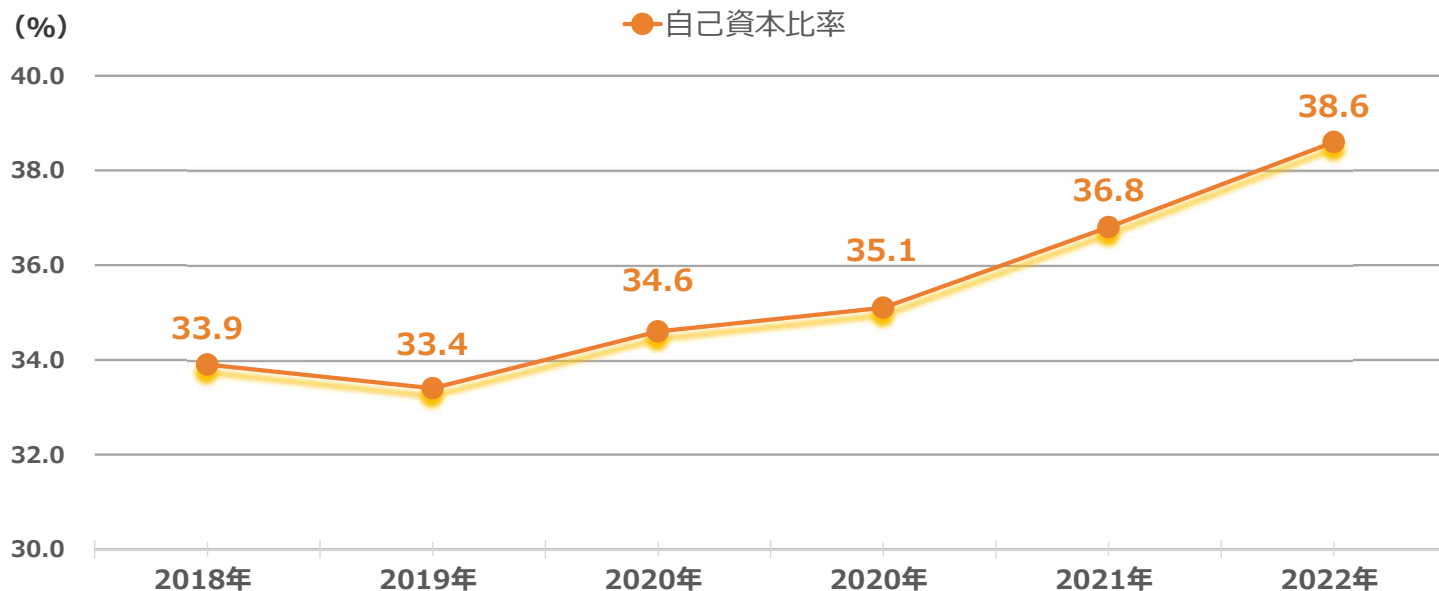
ROE

ROEは7.1%となり、当期純利益の減少により1.3ポイント減少したが、7%を維持。



自己資本比率

自己資本比率は38.6%となり、前期より1.8ポイント改善し、財務の健全性を維持。



3. TOPICS

付加価値の高いイベント・ツアー企画

着付けを身につけた卒業生の方を対象に、付加価値の高いイベントや産地ツアーなどを企画しています。
きものを通して日本の伝統文化を肌で感じていただけるようなイベント・ツアーの実施に積極的に取り組んでおります。

琉球染織ツアー



首里城の復興を通じて沖縄の歴史を振り返り、沖縄の伝統文化のすばらしさをあらためて感じていただくツアーをご準備いたしました。

THE KYOTO



京都ならではの特別な体験を満喫していただけるよう、加盟店ゆかりの工房や歴史観光、初夏の京都のグルメをご案内いたしました。

KIMONO PRIDE



ブルガリの展開するレストランにて、きものファッションショーや一流の職人の方達との交流会を開催いたしました。



きものブリリアンツ全国大会2022開催!

8月2日、3日の2日間にわたって、帝国ホテル東京で「きものブリリアンツ全国大会」が開催されました。

2009年の初開催から15回目を迎えた記念大会とあって、ピックアップステージなどの特別企画や、日本和装の子会社「メインステージ」の社外取締役でもある伍代夏子さんにご登壇いただくなど、例年以上に華やかなステージで賑わいました。

今年から1日だけの参加が可能になり、エントリー数は過去最大に。また、コロナ禍で自粛

していた方から

「3年ぶりに参加しました！」
など嬉しいお声もいただきました。



きものブリリアンツ（商標登録済）とは

ダイヤモンドのカットの名称である「ブリリアントカット」が語源。ダイヤモンドの原石がカットを施すことで輝きを増すように、日本人女性をより美しくみせることができるきもので、史上最高の自分に出会えるよう磨きをかけ、美しく羽ばたいてもらいたいという願いを込めて名付けられました。



日本和装最大のきものの祭典「遊々会」「縁の会」

5月中旬より9月にかけて「遊々会」「縁の会」を開催。全国23会場で総勢2,000名超の方が来場され大変賑わいました。今年のテーマは「希望」。会場では職人たちを応援する「新しいモノづくり基金」企画も実施しました。



遊々会では尺八と三味線ユニットなどのアトラクションも好評でした。

きもんで笑顔を増やしたいという思いから、産地応援のための協力も行いました。



6月に東京・恵比寿ガーデンプレイスで開催した「遊々会」では6日間で680名がご来場。ご入場時の検温や消毒、来場者人数の制限などコロナ感染症対策を徹底して行われました。



「浴衣の着付け」 出前授業を無償で提供 ～母校へ恩返しも～

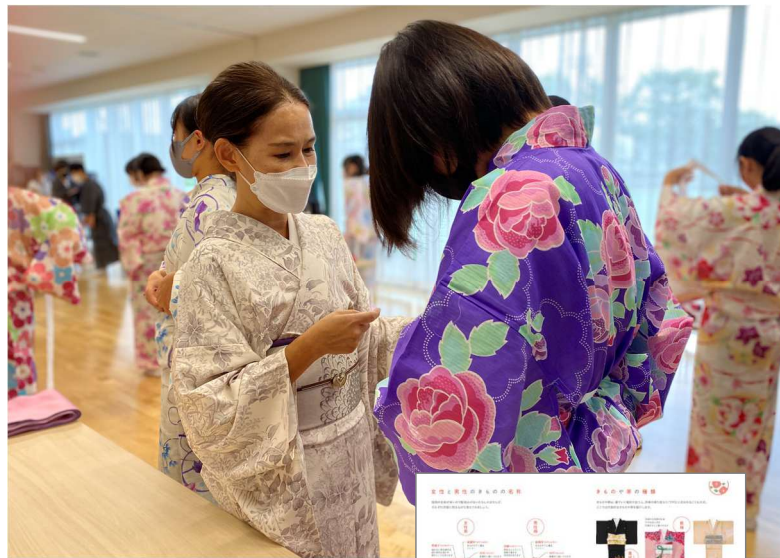
中学生・高校生向けに、浴衣を着付けるという体験を通して和装に触れてもらい、きもの文化に関心を持っていただくプログラムを引き続き展開しています。実体験を伴った授業ができてとてもありがたい、と学校の先生方からも好評をいただいています。

7月には道面の母校である広島県呉市立和庄中学校でも出前授業を行い、テレビ局や 新聞に取り上げられました。

広テレ!News



和庄中学校では体育館で実施。3年生約90人が参加し、生徒自身が着た浴衣もプレゼント。とても良い記念になった、卒業前に素敵な思い出ができたと大変喜んでいただけました。



着付けの指導には、日本和装の講師の他に卒業生も参加しています。きものについて学べるオリジナル冊子も進呈しています。



「イエローカード制」導入 全てのお客様に安心して通っていただくために

2022年よりスタートしました「イエローカード制」。
お客様よりいただいた忌憚のないご意見を真摯に受けとめ、
今後の運営に活かしていきます。



安心の
イエロー
カード制

無料だけど
大丈夫？

販売会が
不安です

全ての方に安心して
通っていただくために、
日本和装はこの春から
「イエローカード制」を導入

受講開始時に「イエローカード（はがき）」をお渡しします。その後のレッスンや販売会等で、万が一失礼な対応でご不快な思いをされたときは、遠慮なく「イエローカード」でお知らせください。すみやかに該当の担当者を変更いたします。

※「イエローカード」は社長室がダイレクトに受け取ります。



IR活動

株主・個人投資家を始め、多くのお客様に当社を知っていただくために、以下のIR活動を行いました。

- モーニングスター「株式新聞」にインタビュー記事を掲載（2022.3.28）
- ラジオNIKKEI ラジオ番組 朝イチマーケットスクエア「アサザイ 今日の1社」に出演（2022.4.6放送）
- プロネクサス「個人投資家向けオンライン会社説明会」を開催（2022.4.27）
- ラジオNIKKEI ラジオ番組 マーケットプレス内「この企業に注目！相場の福の神」に出演（2022.7.5放送）
- 音声プラットフォームVoicy「藤沢久美の社長Talk」に出演（2022.10.3 / 5 / 7 放送）



4. 今後の展開について



4. 今後の展開について ①

付加価値の高いイベント・ツアー企画

2023年は「創業40周年」をテーマに、さまざまなイベントやツアーを盛り上げていけるよう新たな企画の取り組みを行っていく予定です。

創業40周年記念



日本和装創業40周年を記念しての特別お祝い価格の打ち出し・記念作品の制作・パーティを企画しています。

産地応援ツアー



博多・米沢・新潟・沖縄などの産地にて伝統技術や作品をご覧いただき、職人の皆様との交流も含めて、産地を盛り上げていきます。

名工展2023



現代の名工や京の名工の作品をピックアップした展示会を企画中です。名工の称号を持つ職人にも来場していただく予定です。

自宅でプライベートレッスン「エグゼクティブコース」

講師とマンツーマンで着付けを学ぶことができる「エグゼクティブコース」も引き続き継続します。

このコースでは、各地域のトップ講師がご自宅までお伺いし、マンツーマンで指導させていただきます。

通常コースと同じく、受講料無料です。



【エグゼクティブ専用コース】

<https://kosode.jp/executive/>



日本和装初のプライベートブランド「SOUCOLE」

「SOUCOLE（ソウコレ）」は、2019年に誕生した日本和装初のプライベートブランドです。生産現場を支え、きものを未来へとつなげていくために全国の産地職人と日本和装がタッグを組んで共同開発・製作をしています。

同色同柄なしの一点ものとし、すべてにシリアルナンバーを付けるなど生産・販売・納品に至るまで一貫管理。ブランド名の由来である「そう、これが欲しかったの！」を叶えます。

誕生以来、とても好評をいただいています。未来へ残すもの、受け継ぐものを大切に、日本和装は、世界にひとつだけの品を創造し続けています。

プライベートブランド「SOUCOLE」

<https://www.wasou.com/policy/soucole.ph>



サブブランド事業の進捗

顧客層の拡大を目指す事業戦略としてのサブブランド事業。

日本の伝統を守ることをコンセプトに伝統柄を活用したオリジナル商品を開発しています。

和の心を表す「おもてなし (OMOTENASHI)」から間の文字をとり

「TENAS (テナス)」と名付けた生活雑貨のブランドを新設。琉球の染織作家とコラボしたカップ&ソーサーを制作中です。

一つ一つにこだわった新しいサブブランド。どうぞご期待ください。



ブランドロゴと完成予定のカップ&ソーサー

4. 今後の展開について ⑤

2023年度業績予想

(単位：百万円)

和装業界においては、新型コロナウイルス感染症の影響や原材料価格の高騰、急激な為替相場の変動、長期化するウクライナ情勢等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社は市場規模が縮小して推移している和装業界に属しながら、独自のビジネスモデルによって、業界内では比較的安定した営業利益を計上しており、2022年については、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けながらも、各段階利益は黒字を確保しております。

2023年も、幹となる日本和装事業を中心として、グループ会社がそれぞれの強みを活用することによって、和装業界に関わるあらゆるシェアを広げてまいります。

| | 2022年12月期 実績 | 2023年12月期 予想 | 増減率 |
|----------------|-----------------|------------------------|----------------|
| 売上高 | 4,770 | 4,770~4,870 | 0.0%~ 2.1% |
| 営業利益 | 419 | 420~472 | 0.1%~ 12.6% |
| 経常利益 | 392 | 392~440 | 0.0%~ 12.2% |
| 当期純利益 | 236 | 236~270 | 0.0%~ 14.1% |
| 1株当たり 当期純利益 | 円 銭 26.11 | 円 銭 円 銭 26.11~29.78 | 0.0%~ 14.1% |

上記に記載した将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は今後の様々な不確定要素により変動する可能性があります。



4. 今後の展開について ⑥

剰余金の配当（四半期配当）

当社は、株主尊重の立場から、株主利益を守り継続かつ安定した配当を実施することを利益配分に関する基本方針としております。

また、株主様にいち早く経営成績を還元することにより、株式の魅力を高め、新規株主様の獲得を図ることを目的として、2022年12月期より、四半期配当を導入しております。

2022年の第1四半期から第4四半期の配当金につきましては、右記の通りとなりました。

2023年12月期は、13円の配当を予定しております。

2022年12月期の配当利回りは4.4%で、前年と同程度を維持しております。

| | 2020年 12月期 | 2021年 12月期 | 2022年 12月期 (実績) | 2023年 12月期 (予想) |
|------------|---------------|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 1Q | — | — | 3円 | 3円 |
| 2Q | — | 5円 | 3円 | 3円 |
| 3Q | — | — | 3円 | 3円 |
| 4Q | 7円 | 7円 | 4円 | 4円 |
| 合計 | 7円 | 12円 | 13円 | 13円 |
| 配当性向 | 67.2% | 40.2% | 49.8% | % |
| 配当 利回り※ | 3.2% | 4.5% | 4.4% | — |

※配当利回り：1株配当年額/株価（株価は年度末終値）



(参考資料)



(参考資料①)

| | |
|--------|---|
| 商号 | 日本和装ホールディングス株式会社 |
| 本店所在地等 | 〒106-0032 東京都港区六本木6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F |
| 主要拠点 | 東京、横浜、静岡、名古屋、京都、大阪、広島、福岡、他（全国に20拠点） |
| 設立 | 1986年7月 |
| 従業員数 | 正社員 107名 |
| 代表者 | 代表取締役社長 道面 義雄 |
| 事業内容 | 「日本和装」「糸の匠センター」「日本和裁技術院」「きものリフレッシュセンター」の運営等 / 販売促進代理業 / 和装、縫製の教育指導 / 和服及び和装品の売買契約の仲介業務 / 着物の仕立て、縫製業 / 着物のメンテナンス業 / 和装小物の研究開発及び販売 |
| 資本金 | 478,198,644円 |
| 決算期 | 12月 |
| 証券取引所 | 東京証券取引所スタンダード市場（証券コード2499） |
| 主要関係会社 | 株式会社はかた匠工芸〔織物の製造販売〕 ニチクレ株式会社〔割賦販売あっせん（ショッピングローン）〕 株式会社メインステージ〔きものモデルエージェンシー事業（株式会社電通グループ共同出資）〕 日本和装ダイレクト株式会社〔通信販売事業〕 日本和装沖縄株式会社〔沖縄県でのきもの着付け教室の運営、和装品の卸売業〕 Nihonwasou Asia Pacific Holdings Pte. Ltd.〔東南アジア各国での事業統括〕 NIHONWASOU TRADING CO., LTD〔ベトナム社会主義共和国における和服縫製業〕 |



企業理念

「人の喜ぶところに栄えあり」

「“五方良し”を目標に」



“五方良し”

(消費者様良し、生産者様良し、御取引先様良し、株主様良し、社員良し)



新型コロナウイルスの感染予防対策

当社では、引き続き政府および各自治体の方針を元に、スタッフの取り組みはもとより、お客様にもご協力をお願いし教室やイベントに安心してご参加いただけるよう、安全対策に努めています。



コロナ対策を徹底しながら、きものを着る機会づくりのイベントも各地で開催されています。



イベントや教室ではポスターを貼り、新型コロナウイルス感染症対策を実施するとともに、注意喚起をしています。

日本和装。

新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底しています

日本和装では、お客様に安心してご利用いただくため、感染予防、拡散防止に努めています。

スタッフの取り組み



体温計測、体調
チェックの徹底



こまめな手洗い・
うがい・手指の消毒



フェイスガード・
マスクの着用



換気と空気
清浄機の使用

お客様へのご協力をお願い



マスクのご着用



体調アンケートへのご記入

各出入口などには消毒用アルコールを設置しておりますので、ご利用ください。
マスクをお持ちでない方はスタッフにお声がけください。

マスクご協力/公益財団法人 電の子財団
当社は留学生の帰学援助を行っている電の子財団に長年わたって協力させていただいており、
今回、そのご縁からマスクを寄付いただきました。

日本和装ホールディングス株式会社

(参考資料④)

| | |
|-----------------|--|
| 証券コード | 2499 |
| 証券取引所 | 東京証券取引所スタンダード市場（証券コード2499） |
| 決算期 | 12月 |
| 定時株主総会 | 事業年度末日の翌日から3ヵ月以内 |
| 基準日 | 第1四半期：3月31日、第2四半期：6月30日 第3四半期：9月30日、第4四半期：12月31日 |
| 公告掲載方法 | 電子公告による |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1電話0120-232-711 郵送先／〒137-8081新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 |
| 特別口座の 口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |

本資料は2022年12月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は、2022年12月末日のデータに基づいて作成されております。

本資料に掲載された意見、予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

【本資料に関するお問い合わせ先】

日本和装ホールディングス株式会社

東京都港区六本木6-2-31

Tel 03-5843-0097

Fax 03-5843-0098